

令和4年度 検査Ⅲ 問題用紙(その1) 受検番号(B -)

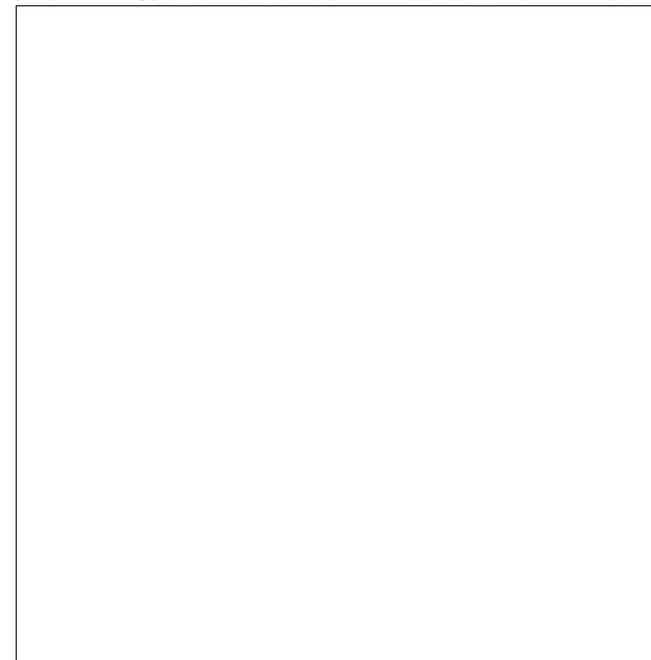
問1 次の各資料を見て、あとの1～6の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 太郎さんが日本の農業について調査するため考えたテーマ

日本では果物栽培にどのような特色があるのか、りんごとみかんについて調べる

資料Ⅱ 都道府県別の果物の生産量(2017年)

資料Ⅲ 二つの都市の雨温図



資料Ⅳ 太郎さんの疑問を書いたメモ

調査してみると阿東町は、りんごの生産がさかんだとわかった。なぜ緯度が低いにもかかわらず、りんごが栽培できるのか。それは(Y)からだろう。

- 資料Ⅰ中下線部が栽培されている地域を地図上に示す場合、どのような地図記号で表されるか。その地図記号をかけ。
- 資料Ⅱ中 X の山脈名を書け。
- 資料Ⅲ中 ア・イ は資料Ⅱ中 A・B のいずれかの都市の雨温図である。A の都市の雨温図を選んで、アかイの記号で答えよ。また、その記号を選んだ理由を 内陸 冬 の二つの言葉を用いて簡単に書け。
- 資料Ⅱを読み取った次のア～エから、正しいものを二つ選んで、その記号を書け。
 ア りんごの生産量は青森県が全国1位で、全国生産量の42%以上をしめる
 イ りんごの生産量が3万t以上の県は、青森県、岩手県、山形県、長野県である
 ウ みかんの生産量は全国上位4位までの県の生産量をあわせて50%以上をしめる
 エ みかんの生産量が3万t以上の県は、瀬戸内海か太平洋に面している
- 資料Ⅲ中の(Y)内にあてはまる語句を、高い気候の二つの言葉を用いて、簡単に書け。
- 太郎さんは調査中のため、資料Ⅱ中の二つの都道府県を示していない。その二つの都道府県はどこか。その都道府県名をそれぞれ書け。また、庁所在地名もそれぞれ書け。

資料Ⅰ 南海トラフ大地震に対する備えについて話し合う花子さんと先生の会話

花子：南海トラフ地震の発生が予測されています。
 先生：はい。地震による揺(ゆ)れと津波(つなみ)による被害(ひがい)が心配されますね。
 花子：南海トラフ大地震による津波では、①太平洋側の(X)した地域への被害が予測されています。先生：はい。様々な面から地震に備えるための調査をしておきたいですね。

資料Ⅱ 花子さんの調査メモA

南海トラフ大地震についてインターネットで調べていると、地震は起きないとする予測や過度に不安を高めるような疑わしい予測が流されていることがわかった。②メディアが伝える情報の中から必要な情報を自分で選び出し、内容の正しさを確認し、活用する能力や技能を身に付けたいと

資料Ⅲ 花子さんの調査メモB

首都圏外郭放水路の写真を見つけた。③津波の海水を地下に流すために作られたのだろうか。

資料Ⅳ 花子さんの調査メモC

地震などの災害に備え、準備が必要だ。④普段から少し多めに食材、加工品を買い、使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法を取り入れたい。

資料Ⅴ 日本からの主な輸出品の取りあつかい額の割合の変化と花子さんの調査メモD

地震によって貿易に大きな影響がでるのではないかと、

	機械類(自動車、カメラなどのぞく)
	(a)
	(b)
	カメラなど
	(c)
	コンピュータ部品
	その他

- 資料Ⅰ中下線部①は太平洋ベルトを説明している。(X)内にあてはまる語句を書け。
- 資料Ⅱ中下線部②は何と呼ばれるか。そのよび名を書け。
- 資料Ⅲ中下線部③は首都圏外郭放水路がつくられた目的としては誤っている。首都圏外郭放水路がつくられた目的を簡単に書け。
- 資料Ⅳ中下線部④は何とよばれるか。そのよび名を書け。
- 資料Ⅴ中(a)～(c)内にあてはまる輸出品を次のア～エからそれぞれ一つずつ選んで、その記号を書け。
 ア 鉄鋼 イ 自動車 ウ せんい エ 原油

問3 次の各資料を見て、あとの1～5の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 日本の歴史に登場する乗り物

<p>馬</p>	<p>A 13世紀、武芸として馬が使われた。御家人には有事の際、将軍のために戦う X が義務づけられた。</p>	<p>船(飛電丸)</p>	<p>B 17世紀、①参勤交代のために大阪までの移動に船を使ったとされる。高松藩は50艘で参勤していた。</p>
<p>外国船(サスケ号)</p>	<p>C 19世紀、浦賀に現れたアメリカ船。この後、②国内の物価が急上昇し、人々の生活が苦しくなった。</p>	<p>香川初の鉄道</p>	<p>D 20世紀、丸亀-琴平間で蒸気機関車が開通した。この頃、③欧米の文化や生活様式が取り入れられた。</p>

資料Ⅱ 資料Ⅰ中のC来航後の貿易(輸出, %) 資料Ⅲ 衆議院議員総選挙の様子の違い

<p>資料Ⅱ</p>	<p>資料Ⅲ</p> <p>あ</p> <p>い</p>
------------	------------------------------

- 資料Ⅰ中 **X** 内にあてはまる言葉を書け。
- 資料Ⅰ中下線部①について、次のa, bの間に答えよ。
 - 下線部①とはどのような制度か。 **弱体化** という言葉を用いてその目的を明らかにした上で、簡単に書け。
 - 下線部①の結果、全国の交通網が整備された。17世紀の交通・通信について述べた次のア～エのうち、あてはまらないものを一つ選んで、その記号を書け。

ア 旅人が泊まるための施設や、荷物を運ぶための馬などを備えた宿場が発達した

イ 商業を盛んにするため、誰でも自由に商売ができたり、行き来できるようにしたりした

ウ 全国から大量の年貢米や特産物が、「天下の台所」とよばれた大阪に集められた

エ 飛脚とよばれる、手紙や手荷物の配送に従事する人が現れた
- 資料Ⅰ中下線部②の理由を、資料Ⅱから考えて **品不足** という言葉を用いて、簡単に書け。
- 資料Ⅰ中下線部③によって見られた、一般の人々の生活の変化として あてはまらないものを、次のア～エから一つ選んで、その記号を書け。

ア 電灯の設置 イ ざんぎり頭の流行 ウ 牛鍋の流行 エ 洋服の着用
- 資料Ⅲ中 **あ** は、資料Ⅰ中Dが開通した翌年に行われた衆議院議員総選挙の様子である。この特徴について、現代の選挙の様子を示した資料Ⅲ中 **い** と比較して、簡単に書け。

問4 次の各資料を見て、あとの1～6の問いに答えなさい。

資料Ⅰ 香川県に関する年表

年代	できごと
741年	聖武天皇の命令で讃岐国にも (X) がつくられた…………… A
886年	①菅原道真が讃岐守として赴任する…………… B
1588年	生駒親正が高松城を築き始める…………… C
1788年	讃岐生まれの柴野栗山が②江戸幕府の老中の相談役として仕える…………… D
1888年	愛媛県から分離し、現在の「香川③県」となる…………… E

<p>資料Ⅱ</p>	<p>資料Ⅲ 讃岐国からの木簡</p>	<p>資料Ⅳ 大塩平八郎</p> <p>1793年：大阪で生まれる</p> <p>1806年：大阪町奉行所で見習いとして働き始める</p> <p>1831年：役人を辞め、洗心洞という私塾を開く</p> <p>1836年：天保のききんが起こる</p> <p>1837年：大阪で反乱を起こす</p>	<p>資料Ⅴ</p> <p>応仁の乱後、讃岐の西部では天霧城を本城とする香川氏が、中部では奈良・香西氏らが活躍した。</p>
------------	---------------------	---	--

- 資料Ⅰ中 (X) 内と資料Ⅱ中 (X) 内に、共通してあてはまる言葉を書け。
- 資料Ⅰ中Aの頃、地方から都に納められた税のうち、地方の特産物を納めた税の種類を何とよぶか、そのよび名を書け。また、そのよび名は資料Ⅱ中 **Y** 内にも入る。
- 資料Ⅰ中下線部①が活躍していたころの時代の特色について述べた次のア～エから、正しいものを一つ選んで、その記号を書け。

ア 国づくりには進んだ制度や文化を取り入れる必要があり、小野妹子が隋に派遣された

イ 中国から伝えられたすみ絵が雪舟によって大成され、「わび」「さび」などと表現された

ウ 都では朝廷の政治を一部の有力な貴族が動かすようになり、藤原氏が力をつけた

エ 百姓の子どもたちも、寺子屋で読み書きを習い、文字の読める人の割合が高かった
- 資料Ⅰ中下線部②について、江戸時代の後半になると百姓一揆や打ちこわしが起こることがあったが、資料Ⅳの人物が起こした反乱は、特に江戸幕府に衝撃を与えた。その理由を、資料Ⅳから考えて、簡単に書け。
- 資料Ⅰ中下線部③を新たに置くなど、明治時代になると政府による改革が進んだ。そのなかで、江戸時代と比べ税制も見直された。どのように見直されたのか、江戸時代の税の納め方と比較し、**米3%**の二つの言葉を用いて、簡単に説明せよ。
- 資料Ⅴのできごとはいつ起こったか。次のア～エから一つ選んで、その記号を書け。ただし、A～Eは資料Ⅰ中の記号A～Eである。

ア AとBの間 イ BとCの間 ウ CとDの間 エ DとEの間